

第15期開放講座

「水と街道」だより 《第2回》

発行：平成25年11月発行
 発行元：国土交通省中部地方整備局
 多治見砂防国道事務所
 開放講座「水と街道」事務局
 電話：0572-25-8020

【第2回 開催概要】

開講日時：平成25年10月10日(木) 10:00~16:30

内容(場所)：砂防講座(中津川市栄町「にぎわいプラザ」、
 砂防現場見学(天白公園・滑川第1砂防堰堤) 道路現場見学(賤母大橋)

砂防講座(直轄砂防事業等)、質疑応答

午前中は中津川市の「にぎわいプラザ」で大矢工務第一課長による砂防講座が行われました。

当事務所の砂防事業(木曾川水系・庄内川水系)での過去の災害や事業の実施状況、平成23年度の台風12号の災害、全国での土砂災害の発生状況、防災訓練・防災教育の取り組みなどを紹介しました。



砂防講座の様子

会員数19名のうち16名が出席

質問する会員の方と回答する大矢課長

講座資料の一部

土砂災害の種類

<h4>土石流</h4> <p>山や谷(溪流)の土、石、木などが、大雨や長雨等による水と土石が混ざり、すごい勢い(およそ時速40~50km)で流れてくるものをいいます。</p> <p>岐阜県 土石流危険渓流数 5,534箇所 (うち人家5戸以上2,950箇所)</p>	<h4>がけ崩れ</h4> <p>急傾斜地(傾斜の角度30度以上で高さが5m以上のもの)において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだ「がけ」がとつぜん崩れ落ちるものです。</p> <p>岐阜県 急傾斜地崩壊危険箇所数 7,458箇所 (うち人家5戸以上2,965箇所)</p>	<h4>地すべり</h4> <p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわりゆっくりと動き出すものをいいます。</p> <p>岐阜県 地すべり危険箇所数 88箇所 (うち人家5戸以上8箇所)</p>
--	---	--

合計 岐阜県 土砂災害危険箇所数 **13,083箇所**
 (うち人家5戸以上6,003箇所)

道路現場見学(国道19号賤母大橋)-中津川市-

最後に国道19号賤母大橋を見学しました。福沢道路管理課長から昨年度に施工した橋脚補強工事での地震対策の状況や橋の構造の説明をしました。



砂防現場見学(天白公園)-南木曾町-

次に天白公園を見学をしました。当該箇所は、昭和28年に土石流が発生した箇所であり、吉田上松出張所長からその当時の状況や南木曾町での過去の土砂災害の歴史を資料により説明しました。パネル写真にて被災当時と現在の様子を見比べました。



蛇抜けの碑 (じゃぬけ=土石流)

過去の土砂災害の状況を説明 (後方に見えるのは国の重要文化財の桃介橋)

悲しめる乙女の像と碑文

- ・白い雨が降るとぬける
- ・尾先 谷口 宮の前
- ・雨に風が加わると危い
- ・長雨後 谷の水が急に止まったらぬける
- ・蛇ぬけの水は黒い
- ・蛇ぬけの前にはきな臭い匂いがする

砂防施設見学(滑川第1砂防堰堤)-上松町-

なめかわ 午後は滑川第1砂防堰堤を見学しました。上松出張所中谷技術係長から砂防事業の目的・役割やその効果を滑川第1砂防堰堤での過去に発生した土石流の状況とあわせて説明をしました。

当該箇所では、砂防堰堤で捕捉した土砂の除石工事が実施されており、通常よりはるかに大きなダンプトラック(35トン)やバックホウの作業を見ることができました。



堰堤の上にて

堰堤の前にて

滑川第一砂防堰堤 諸元

(計画諸元)
 貯砂量：309,000m³
 (構造物諸元)
 形式：コンクリート
 総立積：128,716m³
 主ダム高さ：22m
 // 長さ：300m